



# おむねっとだより

～メンバー 手作り通信～



Vol. 82

発行日: 2024/9/27

発行者: あなたの秋は

何の秋? グループ

就労支援センター

Om-net(おむ・ねっと)

## Vlog 投稿しました!

VlogとはVideo Blogの略で、一般的には好きな事を文章で表すブログの動画版となります。

今年2月に土曜プログラムで行った氷濤祭りをVlogにして、同年7月にYouTubeの「就労支援センターおむねっと」のチャンネルに投稿しました。

今回投稿したVlogですが、動画編集ソフトの練習を兼ねて作成してみようとなり、動画編集ソフトや音声合成ソフトに触れる程度のメンバーの私が“約5カ月”掛けて作った物が、チャンネルに唯一上がっております。

参加していない土曜プログラムだったので見た人に伝えれば良いなと思いながら編集しました。初めて触る動画編集ソフトに四苦八苦しなから、動画を一から作り始めていきました。

入れていく動画の音声や写真の感想、実際に参加した人の感想を含める作業、場面に合わせたBGM探しや、場面が変わる度にBGMを切り替える作業等、かなり大変だった記憶が残っています。

そして何より苦労したのは、Vlogを意識しての撮影ではなかった動画を、Vlog用に編集した事です。おむねっとメンバーや一般の方が映っていてカットしなくてはならなかったり、動画のつながりが不自然にならないように工夫しました。Vlog作成初心者のサイトを参考に分かりやすく作成したのですが、出来上がりを見るとまた違った作り方で良かったのかな?と今更ながら思います。

そんなガチガチの初心者が作った、「氷濤祭りのVlog」ですが、お暇がありましたら是非観てください。

こちらのURLに直接飛んでみて頂くか、<https://www.youtube.com/watch?v=SW53XgTHwC4>

YouTubeの検索機能で「就労支援センターおむねっと」で検索してください。(記事:AYM)

## 「いただきます」の意味とは?

「いただきます」には、二つの意味があります。

まず一つ目は、食事を作るために使われた食材に感謝することです。食材たちが、私たちにたくさんの栄養を届けてくれます。野菜や肉(豚や鶏など)の命を自分たちの体にいただくという意味があります。

二つ目は、食事が提供されるまでに関わってくれたすべての人に感謝することです。私が思う関わる人たちは、食材を育てて収穫する人や、新鮮な状態で運んでくれる人たち、スーパーで買いやすくするために並べたり、商品を売ってくれる人たちです。

今回いただきますの意味を調べていく中で、様々な人の関わりに気づくことが出来ました。食材を調理してくれるお店の人や、お父さんお母さんはもちろん、食事が提供されるまでに関わるすべての人たちへの感謝も忘れてはならないと感じました。

皆さんもこれからご飯を食べる前には、食材と関わるすべての人に、感謝の気持ちを込めて「いただきます」と言ってみてはいかがでしょうか。

参考資料:伝教大師最澄 1200年魅力交流 コミュニケーションサイト「いろり」

<https://1200irori.jp/content/learn/detail/case07>

(記事:N)

# 2025年カレンダー発売決定！

日頃より印刷工房おむねっとをご利用いただきありがとうございます。

おむねっとでは2025年のカレンダーの発売が決定しました。今回のイラストのテーマは「日本の風景」です。北海道をはじめ、日本各地の四季折々の美しい景観で統一された、オリジナルカレンダーになっています。メンバーそれぞれが気合いを入れて描いたオリジナルイラストを、今年もお楽しみいただけるよう鋭意製作中です。

種類と価格ですが、税込み価格で卓上650円、A3サイズ950円、A2サイズ1450円となっています。発売予定は11月頃を予定しています。詳細が決まり次第ホームページ等でもお知らせ致しますので、楽しみにお待ち頂けると幸いです。  
(記事：neko)

## 七五三の由来と現代

皆さんは11月といえば何を思い浮かべますか？今回は11月を代表する年中行事である「七五三」の由来と、現代における七五三のかたちをご紹介します。

七五三で行われる行事そのものの由来は、平安時代の頃から宮中（現代の皇室）で行われていた次の3つの儀式が基になっているそうです。

- 「髪置きの儀」（3歳の男の子・女の子）3歳までは髪を剃り丸坊主で育てる風習があり、それを終らし髪を伸ばし始める儀（髪を剃る事は頭皮を清潔にして健康を祈願する意味があった）
- 「袴はかま着の儀」（5歳の男の子）男子が袴を着用し始める儀
- 「帯解おびときの儀」（7歳の女の子）女子が付紐の着物を卒業して大人と同じ幅の広い帯を着け始める儀

江戸時代に、現代の七五三の原型として武家や商人の間に広まり、明治時代には「七五三」と呼ばれて庶民にも浸透しました。現在のような形が出来上がったのは大正時代以降とされています。ちなみに3歳、5歳、7歳を節目とした理由は、こよみ「暦が中国から伝わった際に奇数は縁起がいいとされた説、「3歳で言葉を理解し、5歳で知恵がつき、7歳で乳歯が生え替わる」という成長の節目の歳だからとされた説があります。

現代に比べて医療の発達で衛生面もよくなかった昔は、子どもの死亡率がとても高く一説では江戸時代ごろの乳児死亡率は50%以上だったとも言われています。そのため「7歳までは神のうち（神の子）」として扱われ、7歳になって初めて人として一人前であると認められていました。

そんな時代背景から、子どもが無事に育つことは大きな喜びであり、親として健やかな成長を願わずにはいられないものでした。それゆえ、3歳、5歳、7歳の節目に成長を神様に感謝し、お祝いをしたことが七五三の由来とされています。

現代では、七五三は必ずやらないといけない行事ではありません。それでも七五三をやらなかった方の中には、お子さんの成長を祝えずに後悔したという方も少なからずいるようです。最近では参拝だけしたり記念撮影だけしたりすることが増えています。参拝やご祈祷はしなくても、お子さんの着物姿を残しておけるので、記念撮影をしておく後悔しないのではないのでしょうか。年の近いお子さんが2人以上いるご家庭では、どちらかの年齢に合わせてお祝いをするという事もあるようです。

いつの時代にも、子どもを思う親心が変わりはないのかもしれないね。  
(記事：neko)

(=・ω・=)編集後記<\*)>=<

- 今年は畑で色々なものを育てて、たくさん収穫出来た収穫と食欲の秋でした。(neko)
- 今年は暑くて珍しく半そでで過ごす日が多く、新しい甚平も着れました。(AYM)
- 去年はすごく体調良かったけど、今年に入って一気に体調が悪くなりました。(N)

☆お問い合わせ・見学のご相談等は、こちらへお気軽にどうぞ！

就労支援センター

**Om-net**  
おむ・ねっと

社会福祉法人 せらび

所在地: 〒066-0027

TEL: 0123-25-6539

FAX: 0123-25-6613

就労支援センター Om-net(おむ・ねっと)

北海道千歳市末広4丁目1番13号

e-mail: om-net1363@therap.or.jp

Web: <http://www.therap.or.jp/omnet>

